

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2011 年 12 月

NO. 225

TOPICS

「企業不祥事の既視感」

(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 前田 一郎

MESSAGE P3

「新春PRフェスタ 2012 中止決定のご報告」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2011 PRプランナー認定

1 次試験対応講座 受験受付を開始」

ATTENTION P5

「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース

引き続き 1 科目受講を受付中」

ATTENTION P6

「第 10 回PRプランナー資格検定 1 次試験

福岡で 1 次試験を初実施！受験申込受付中！」

ATTENTION P7

「facebook 公式ページオープン」

ATTENTION P8

社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F

電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 森 健

12月号 目次

12月～1月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「企業不祥事の既視感」	 3
ATTENTION(お知らせ)	「新春PRフェスタ2012中止決定のご報告」	 4
〃	「広報PRアカデミー2011 PRプランナー認定1次試験対応講座受講受付を開始」	 5
〃	「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース11月2日より開講」	 6
〃	「第10回PRプランナー資格検定1次試験 福岡で1次試験を初実施」	 7
〃	「facebook 公式ページオープン」	 8
BULLETIN(活動報告)	「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー・PRアワードグランプリ決定」	 9
〃	「第9回PRプランナー資格検定2次試験を11月13日に実施」	 12
〃	「第19回PRスキル研究会開催報告」	 13
REPORT(講演レポート)	「第135回定例研究会 開催レポート」	 14
PRTREND(PRトレンド国内)	「震災の影響による生存者のメディア接触状況変化に関する調査」	 15
〃	「ELトレンド指数で見る2011年10月度キーワード・ランキング」	 16

12月～1月スケジュール

広報PRアカデミー2011 「マネジメントコース」

●科目3
「広報・PRマネージャーのための
リスク・マネジメント」

日 時	: 12月7日(水)・14日(水) 19:00～21:00(両日とも)
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師	: 田中危機管理広報事務所(株) 代表取締役社長 田中 正博氏

●科目4
「広報・PRマネージャーのための
マーケティングとブランドのマネジメント」

日 時	: 1月25日(水)・2月1日(水) 19:00～21:00(両日とも)
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師	: 中央大学 大学院戦略経営研究科 教授 田中 洋氏

「PRプランナー試験対応コース」

●3次試験対応講座
「ニュースリリースの作成」

日 時	: 12月6日(水)・13日(水) 19:00～21:30(両日とも)
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師	: (株)ミラ・ソル 代表取締役 田代 順氏

●3次試験対応講座
「広報・PR計画の立案作成」
(マーケティング分野)

日 時	: 12月20日(水)・1月5日(木) 19:00～21:30(両日とも)
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師	: (株)インテグレート 第2アカウントプランニング部 ディレクター 赤坂 幸正氏

●3次試験対応講座
「広報・PR計画の立案作成」
(コーポレート分野)

日 時	: 1月10日(火)・17日(火) 19:00～21:30(両日とも)
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49
講 師	: (株)電通パブリックリレーションズ コミュニケーションデザイン局 イシュー・リスクマネジメント部 シニアコンサルタント 岡本 純子氏

PRアワードグランプリ最終審査会
及び表彰式

日 時	: 12月5日(月) 13:00～18:30
会 場	: 六本木アカデミーヒルズ 49「オーデトリウム」

平成24年広告界合同年賀会

日 時	: 1月6日(金) 15:00～17:30
会 場	: 帝国ホテル「孔雀の間」

※ 来年1月18日(水)開催予定の「新春PRフェスタ2012」は中止となりました。
(詳細はP4をご参照ください)

12月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（12 月度）	日 時	： 12 月 21 日（水） 16：00～18：00
	場 所	： 森ビル(株) 8F 会議室
組織委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 15 日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
国際委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 16 日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
教育委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 7 日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 19 日（月） 16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
出版委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 20 日（火） 16：00～19：00
	場 所	： 協会会議室
顕彰委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 16 日（金） 17：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
資格制度委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 22 日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（12 月度）	日 時	： 12 月 15 日（木） 16：00～18：00
	場 所	： (株)電通パブリックリレーションズ 会議室
IT委員会（12 月度）	日 時	： 12 月 2 日（金） 16：30～18：00
	場 所	： 協会会議室

企業不祥事の既視感

(社)日本パブリックリレーションズ協会

理事 前田 一郎

苦勞が絶えない

このメッセージを依頼されてから、改めてこれまでの各理事のご寄稿を読み返してみると、今年の関心事は「ブランド」「信頼」「誇り」「よりどころ」といったキーワードに集約されるようです。3月の大震災から国を挙げて懸命に復旧・復興に取り組んでいる中、会員各位もこの1年の緊張を強いられた日々を振り返られていることと思います。

今年の世相を表す流行語とも言えるような「六重苦」は、いずれも構造的な難題ですから、おいそれと身軽にはなれません。景気の先行きも業種・業態によってまだら模様と見られることから、来年の心機一転、飛躍に向けて、各社ごとの課題をそろそろ腰ダメで整理されていることと拝察します。

形だけの広報ではいけない

そのような折も折、私たち広報にとって再び身も凍るようなデジャヴが出来たことは頭の痛い問題となりました。11月上旬、当協会の理事会に集まった理事の皆さんが誰とはなしに口に出したのは、立て続けに発覚して事件沙汰になった、あの企業不祥事でした。いわく、上場企業でありながら、「あの会社に広報・IRはなかったのか!」と。

紙・パ業界の中堅と光学機器の大手メーカー2社が、いずれもガバナンス問題で調査・告発されるという事態に至り、海外メディアが日本企業を批判する厳しい視線は、わが身にも刺さるような気持ちでした。2社の特異なケースとは言え、「仏作って魂を入れず」とはこのことか、というような受け止め方では、日本の社会・経済システムが持ちこたえられなくなるのではないかと危惧せざるを得ません。監査法人への信頼性の毀損も、多くの企業に直接的な影響を及ぼすでしょう。

米国のエンロンと共に、その監査法人のアーサーアンダーセンが、続いてワールドコムが破滅したのはつい10年ほど前のことでしたが、それらの巨額な不正経理にも匹敵する悪質な経営品質の問題になりそうです。

草食系広報の危機

法令違反の経緯は徐々に明らかになるものと思いますが、そもそも企業倫理と企業統治を健全に保つ文化が埋め込まれていなかったのか、という問題に思い至ります。なぜ、両社の広報は会社を変えられなかったのか?なぜ、トップの不正の芽を摘むことができなかったか!

1990年代のバブル崩壊の前後にも経験した、企業会計をめぐる不祥事。その後、企業法制の改正による改革を進めてきた日本の立ち位置が足元から崩れるような激震となり、社会の視線で会社のために日々奮闘している広報やIRなどの経営スタッフの重責が、ますます重要性を増しているように思います。

一方、全国社外取締役ネットワークなどの団体は早速、独立社外取締役を義務化し、取締役会の過半数を構成するよう求めたようです。

倫理の真理とは

話は変わりますが、私の通勤電車である銀座線のある駅に掲示されている仏具屋さんの電光広告に、「心は形を求め、形は心をすすめる」というフレーズがあります。広報がガバナンスを効かせるのにお題目は不要ですが、いざという時、公器たる会社の誇りとブランド、そして企業体そのものと社員・家族を守る覚悟を、堅く保持していきたいものだと思入ってしまいました。

経営は形から実践するばかりでは意味がありません。事業の理念、企業としての思想を深く胸に刻み、「論語と算盤」の精神で責任感を貫くことができるか否かが、広報に問われるのだと思います。来年は新たな気持ちで、明るい展望を呼び込みたいものです。

「新春PRフェスタ 2012」中止決定のご報告

平素は協会活動にご協力いただき感謝申し上げます。

平成 24 年 1 月 18 日（水）に六本木アカデミーヒルズ 49 で開催を予定しておりました、『新春PRフェスタ 2012』（新春PRフォーラム及び新年懇親会）につきましては今年度の協会運営予算の状況から、11 月度理事会において開催を中止することに決定いたしました。

年に 1 度ということでの会を楽しみにお待ち頂いていた会員の皆様には、大変申し訳ございませんが、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（社）日本パブリックリレーションズ協会
常務理事 大原 寿一

広報PRアカデミー2011

PRプランナー認定1次試験対応講座

1月開講に向け受講受付を開始

教 育 委 員 会



広報・PRに関する専門的な知識と技能を検定するPRプランナー資格認定制度の第10回1次試験は、来る3月4日（日）に実施が予定されています。協会では、本試験の合格に向けた「PRプランナー1次試験対応講座」を六本木アカデミーヒルズにて1月31日（火）より開講します。

「PRプランナー1次試験」では、パブリックリレーションズの基本概念からメディアリレーションズ、IR、エンプロイヤーリレーションズ、国際広報、ネットPR、経営倫理に至る幅広い分野から出題されます。試験の合格に向け、受講者は

これらの分野におけるさまざまな概念を理解し、基本的な知識を身に付けておく必要があります。1次対応講座では、自らもPRプランナー資格を取得した講師2名がのべ5回の講座で各分野をわかりやすく解説し、1次試験の合格をめざす受講者の取組みを支援します。

なお本講座においても、ライブストーリーミング「Watershed（ウォーターシェッド）」受講サービス（視聴期間限定）を提供、遠隔地等の会場外からネットを介したリアルタイム受講、講義データのアーカイブによるオンライン再履修も可能です。

講座の詳細と受講申込みは、次の協会Webサイトをご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/event/prp/1st_exam

■PRプランナー1次試験対応講座

日 程	時 間	講座テーマ	講 師	受講料(税込)	締 切
1 月 31 日 (火)	19:00 ～ 21:30	パブリックリレーションズ概論／ 企業経営とパブリックリレーションズ活 動／コミュニケーションとPR	(株)プロペラ・コミ ュニケーションズ 代表取締役 永井昌代氏 日本PR協会 事務局次長 真部一善	会場受講＋ Watershed 受講 ・日本PR協会会員 21,000 円 ・学生 18,900 円 ・一般 31,500 円 Watershed 受講のみ ・日本PR協会会員 21,000 円 ・学生 18,900 円 ・一般 21,000 円 (会員料金は、法人 正会員社員、もしく は個人正会員ご本 人様のみ)	会場受講＋ Watershed 視聴 1 月 27 日 (金)まで Watershed 視聴のみ 1 月 24 日 (火)まで
2 月 7 日 (火)		メディアリレーションズ／ マーケティングとPR			
2 月 14 日 (火)		インベスターリレーションズ／ エンプロイヤーリレーションズ／ネットPR			
2 月 21 日 (火)		企業の危機管理／国際広報／行政、 団体等のパブリックリレーションズ			
2 月 28 日 (火)		PR活動のマネジメント／ パブリックリレーションズと倫理／ 資格制度説明、質疑応答、その他			

広報PRアカデミー2011

「マネジメントコース」11月2日より開講

引き続き1科目受講を受付中

教 育 委 員 会

さる11月2日より「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース」が開講しました。

11月2日及び8日は、科目1として「広報・PRマネージャーの役割と心構え」をテーマに、株式会社野村総合研究所 前広報部長（現総務部長）が登壇、コーポレートコミュニケーションの基本概念、広報・PRマネージャーの持つべき心構えや考え方について解説されました。また、11月16日と24日に開講された「科目2 広報・PRの戦略マネジメント」の講座では富士ソフト株式会社の企画部コーポレートコミュニケーション室長の井上喜久栄氏が講師を担当、PDCAサイクルを基本とする広報・PRの業務マネジメントについて長年の体験を交えた講義が行われました。いずれの講座でも、経験豊富な講師による熱の入った講義に真剣に聴き入る受講者の姿が印象的でした。



「マネジメントコース」は、来年3月にかけて科目3から科目8までの合計8講座が開講されます。本講座は科目別の受講が可能のため、日本PR協会では引き続き「一科目受講」の申し込みを受け付けています。各講座の詳細及び受講申込方法については、以下Webをご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/event/upper>

■「マネジメントコース」今後のスケジュール

日 程	時 間	講座テーマ	講 師	受講料(税込)	締 切
12月7日 (水)	19:00 ～ 21:00	広報・PRマネージャーのための リスク・マネジメント ① ② (講義と演習)	株式会社田中危機 管理・広報事務所 代表取締役社長 田中正博 氏	【講座3～講座4】 ・日本PR協会会員 各 18,900 円 ・PRプランナー(准・補) 各 25,200 円 ・一般 各 28,350 円 【講座5～講座8】 ・日本PR協会会員 各 9,450 円 ・PRプランナー(准・補) 各 12,600 円 ・一般 各 14,175 円 (会員料金は、法人 正会員社員、もし くは個人正会員ご 本人様のみ)	各 科 目 の 金 まで 開 講 曜 日 で
12月14日 (水)					
1月25日 (水)		広報・PRマネージャーのための マーケティングとブランドのマネ ジメント① ② (講義と演習)	中央大学 大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋 氏		
2月1日 (水)					
2月8日 (水)		CSR活動と連携した広報・PRマ ネジメント (講義)	帝人株式会社 広報IR室長 宇佐美吉人 氏		
2月22日 (水)		広報・PRマネージャーのための IRマネジメント (講義)	東レ株式会社 IR室長 神山健次郎 氏		
3月7日 (水)		広報・PRマネージャーのための グローバル広報マネジメント (講義)	筑波学院大学 経営情報学部 教授 大島慎子 氏		
3月22日 (水)		広報・PRマネージャーのための Web とソーシャルメディア活用マ ネジメント (講義)	クロスメディア・コミュニ ケーションズ株式会社 代表取締役 雨宮和弘 氏		

<第 10 回PRプランナー資格検定 1 次試験> 福岡で 1 次試験(3 月 4 日(日))を初実施！ 受験申込受付中！

資格制度委員会



東京会場



大阪会場



福岡会場

第 10 回 P R プランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：3 月 4 日(日)）では、東京・大阪以外での各地域での開催希望の声に応え、8 月の北海道試験と同様に、福岡建設会館（福岡市博多区博多駅東 3-14-18）にて、九州地区では初めての「P R プランナー資格認定制度／検定第 1 次試験」を実施します。

本制度は 2007 年より発足しすでに 9 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 1,109 名の P R プランナーが一般企業、P R 会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、1 月 13 日（金）となっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

P R プランナー資格認定制度／検定第 1 次試験 福岡会場 実施概要

試 験 日	2012 年 3 月 4 日（日） [東京会場、大阪会場と同日実施]
会 場	福岡建設会館（福岡市博多区博多駅東 3-14-18）
募 集 定 員	80 名福岡会場の最少実施人数は 20 名となります。 ※福岡会場での受験者が 20 名に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪いずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。
受験応募・申込方法	資格制度ホームページで受験予約を行った上で申込書を郵送
受 験 予 約 期 間	2011 年 12 月 1 日（木）～ 2012 年 1 月 13 日（金）
申 込 書 送 付 期 間	2011 年 12 月 2 日（金）～ 2012 年 1 月 20 日（金）＜必着＞

facebook

公式ページオープン

I T 委員会

このたび協会ホームページと連動した facebook がオープンしました。
今後、セミナー・イベントのご案内のほかに、広報・PRに役立つ情報も書き込みしていく予定です。

皆様の「いいね！」をお待ちしております。

「いいね！」

【公式】日本パブリックリレーションズ協会 (PRSJ)

<http://www.facebook.com/#!/prsji>



【公式】PRプランナー（日本PR協会）

<http://www.facebook.com/#!/PRplanner>

「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」に佐々木則夫氏 「PRアワードグランプリ」に㈱電通パブリックリレーションズ 「議会広報紙のイノベーション」 ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～

顕彰委員会

2011年度「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」および「PRアワードグランプリ」の受賞者(社)が下記のように決定いたしました。

「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」

「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」は、パブリックリレーションズの基本理念であるパブリックインタレスト（公益）に貢献した人、またはそれぞれの分野でPRの視点から活躍した人を表彰するものです。

過日、会員の皆様方に投票していただいた結果を基に、11月15日開催の顕彰委員会での最終審議を経て、今年の受賞は、サッカー日本女子代表（なでしこジャパン）監督 佐々木則夫氏に決定しました。

受賞者： 佐々木則夫氏（ささき のりお）

受賞理由： F I F A女子ワールドカップ 2011 決勝。息詰まるPK戦を控えても、日本女子代表「なでしこ」の選手たちに笑みを振りまいていた佐々木則夫監督は、女子スポーツにおける新しいタイプの指導者といえます。同監督は選手の個性と自主性を尊重し、「楽しむ」ことを基本に指導、メディアにも自然体で対応するなど、コミュニケーターとしての新しい姿を見出すことができます。

なお、表彰式は12月に非公開により執り行いましたことご報告いたします。

佐々木監督から受賞に関しましてコメントをいただきましたので、記載させていただきます。

『自分のパーソナリティをすべてそのまま出しているだけです。それが皆さんに伝わり、評価いただけたのだとしたら、嬉しい限りです。
今後とも、なでしこジャパンをよろしく
お願いいたします。』



「PRアワードグランプリ」

12月5日（月）、六本木アカデミーヒルズ49「オーディトリウム」において、2011年度「PRアワードグランプリ」の最終審査会が開かれ、グランプリ1作品、部門最優秀賞4作品が決定しました。

特別審査員2名、各部門審査員長4名、会員公募の審査員31名による厳正な選考の結果、最高得点（グランプリ）を獲得したのは、㈱電通パブリックリレーションズの『議会広報紙のイノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～』でした。

また、部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門が㈱オズマピーアールの『宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～』、マーケティング・コミュニケーション部門が㈱電通 関西支社／㈱電通パブリックリレーションズ 関西支社の『「アイスの実」キャンペーン 2011 PR活動』、ソーシャル・コミュニケーション部門がセカンドハーベスト・ジャパンの『被災地 石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後からの支援活動～』、イノベーション部門が㈱博報堂の『「マーケティング 3.0＝世の中と企業とが価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム 「ヴィクトリーイレブンプログラム」』にそれぞれ決定しました。

表彰式は最終審査会終了後、同会場にて開催いたしました。

＜2011年度「PRアワードグランプリ」＞（優秀賞は各部門エントリー順）

賞	活動の名称	エントリー会社
PRアワードグランプリ	『議会広報紙のイノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～』	㈱電通パブリックリレーションズ
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	『宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～』	㈱オズマピーアール
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『ヤマダ電機中国店舗オープンに関するブランドローンチ活動』	㈱電通 ㈱電通パブリックリレーションズ
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『日本橋クリーニングプロジェクト』	ピーアールコンビナート(株)
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	『「アイスの実」キャンペーン 2011 PR活動』	㈱電通 関西支社 ㈱電通パブリックリレーションズ 関西支社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『Peach AviationのPR活動 ～日本初の本格的LCC会社として、日本の航空業界に新規参入～』	エデルマン・ジャパン(株)
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『CFRP製量産車の実現に向けたマルチPR活動』	帝人(株)
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	『被災地 石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後からの支援活動～』	セカンドハーベスト・ジャパン
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『希望の烽火プロジェクト 冷凍・凍結コンテナ引渡し式』	㈱電通 ㈱電通パブリックリレーションズ

ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『東日本大震災を受けた「公的機関向けツイッター活用マニュアル」無料配布CSR活動を通じた、自治体・公的機関へのPR啓蒙活動』	㈱井之上パブリックリレーションズ
イノベーション部門 ＜最優秀賞＞	『「マーケティング 3.0＝世の中と企業とが価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーイレブンプログラム」』	㈱博報堂
イノベーション部門 ＜優秀賞＞	『「日本の広報・PR100年 ～満鉄からCSRまで」の出版』	日本の広報・PR史研究会

また、今年度に限り、「PRアワードグランプリ 特別賞」を東日本大震災の復興に大きく貢献された「高田松原を守る会」様に授与することが決定しております。

第9回PRプランナー資格検定試験

2次試験を11月13日に実施

265名の受験者が挑戦！

資格制度委員会

11月13日（日）に東京・東洋大学白山キャンパスと大阪・毎日インテシオで行われました2次試験では、受験申込者286名のうち、当日は265名の受験者が受験し、新たに186名が4科目合格されました。

当日の東京は、澄み渡る秋晴れで気温も20℃を越し、大変過ごしやすいい中、無事終了することができました。ご協力いただきました関係者および関係各位の皆様、大変ありがとうございました。

今回の2次試験の受験者、および合格者・合格率は以下の通りです。

第9回 科目別2次試験合格率

<受験者>—265名

265名（一般：240名、学生：25名）

<うち4科目受験者>—255名

一般：232名（うち3科目以下受験者：71） 学生：23名（うち3科目以下受験者：4）

<4科目合格者>—186名

一般：172名（うち3科目以下受験者：45） 学生：14名（うち3科目以下受験者：2）

<4科目受験 合格率>—72.9%

一般：78.9% 学生：63.2%

<科目別合格率>

科目A「CSR、IR、危機管理等、経営と広報・PRに関する知識」

受験者：261（一般：238・学生：23）

合格者：231（一般：214・学生：17）

合格率：88.5%（一般：89.9%・学生：73.9%）

科目B「マーケティング及びブランドマネジメントに関する知識」

受験者：260（一般：235・学生：25）

合格者：228（一般：209・学生：19）

合格率：87.7%（一般：88.9%・学生：76.0%）

科目C「PR実務に関する知識」

受験者：262（一般：238・学生：24）

合格者：231（一般：215・学生：16）

合格率：88.2%（一般：90.3%・学生：66.7%）

科目D「時事知識」

受験者：260（一般：236・学生：24）

合格者：221（一般：202・学生：19）

合格率：85.0%（一般：85.6%・学生：79.2%）



会 員 限 定

第 19 回PRスキル研究会
「医療分野のPR」
～クライアントのニーズとメディアの狭間で～

— P R 業 部 会 —

第 19 回 P R スキル研究会を、11 月 17 日(木) (株)電通パブリックリレーションズ会議室で開催しました。講師は中央大学 法学部 政治学科 (メディア政策) 講師 高石 憲氏、テーマは「医療分野の P R ～クライアントのニーズとメディアの狭間で～」。

会 員 限 定

第 135 回定例研究会

**激動の 2011 年の先を読む
「日経ビジネス」の編集方針**

震災後に芽生えた“新常識”とこれからの広報・PRを探る

講師：日経BP社「日経ビジネス」

編集長 山川 龍雄氏

第 135 回定例研究会を 10 月 25 日(火)、日本外国特派員協会（F C C J）で開催しました。「日経ビジネス」山川 龍雄編集長を招き、「激動の 2011 年の先を読む『日経ビジネス』の編集方針 ―震災後に芽生えた“新常識”とこれからの広報・PRを探る―」と題した講演には、73 名が参加しました。

震災の影響による生活者の メディア接触状況変化に関する調査 ～震災半年後、生活者のメディア接触はほぼ平時に回復 活字メディアとソーシャルメディアの接触は増加～ 博報堂DYメディアパートナーズ

(株)博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所（本社：東京都港区、所長：吉田 弘氏）は、東日本大震災前後、また、その半年後に首都圏に居た生活者を対象に、震災を経験したことによる生活者のメディア接触状況の変化を分析するための調査を行いました。

今回の調査により、東日本大震災という非常時において生活者のメディア接触は影響を受けたものの、その後回復し全体的には震災前の平時に戻りつつあるということが確認されました。それぞれの媒体の接触状況については、電波メディア（テレビ、ラジオ）の接触は平常に戻り、活字メディア（新聞、雑誌）の接触は、震災後に接触している人の割合が伸びています。ソーシャルメディアについては、震災後に接触している人の割合は伸び続けてはいますが、震災の影響と同時に、経年による増加も要因の一つと考えられます。

また生活者は、真偽の分からない情報に関しては雑誌やインターネットで調べるなど、自ら積極的に情報収集している様子が見えます。

「主な調査結果」

■震災前と震災半年後の「普段接しているメディア」について

震災から半年経って、新聞、雑誌、ソーシャルメディアの接触が震災前と比べ増加しています。とくに、雑誌は、震災前は25.3%であったものが震災半年後38.0%と大きく接触が増えました。震災関連の情報を得ることがきっかけで雑誌の閲読が増えたものと推測できます。また、ソーシャルメディア接触の増加については、震災の際にコミュニケーションツールとして活用され、その後は、震災関連の情報収集をするために利用されることが多くなったことが大きな要因として考えられます。

■メディアに関する意識

震災直後の3月調査では、6割が「大規模な災害時にはマスメディアの情報が信頼できる」と回答。半年たった時点では、多少下がったものの、半数以上が、「マスメディアの情報が信頼できる」と回答。一方で、「真偽のわからない情報に関しては自ら積極的に関連する情報にアクセスした」が、3月調査では4割弱から半年後には5割に。震災以降、自ら積極的に情報を取捨選択している姿が見えます。

※以上は、博報堂DYメディアパートナーズ、ニュースリリース（2011年10月31日）から概要を紹介しました。

<http://www.prsj.or.jp/wp-content/uploads/2011/11/HDYnews111031.pdf>

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ広報グループ 03-6441-9347

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2011 年 10 月度

㈱エレクトロニック・ライブラリーは、2011 年 10 月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、10 月に発行された新聞 96 紙・雑誌約 100 誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約 263 万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2011 年 10 月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	10.52	東日本大震災	6位	3.58	環太平洋経済連携協定 (TPP)
2位	6.08	原発事故	7位	3.56	復興財源
3位	5.82	除染	8位	3.55	債務問題
4位	5.18	欧州金融安定化基金	9位	3.51	福島第一原子力発電所
5位	5.00	野田政権	10位	3.45	参加問題

■ 2011 年 10 月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	3.69	デクシア	6位	1.80	東京電力
2位	3.43	欧州金融安定基金	7位	1.78	ソシエテ・ジェネラル
3位	2.38	オリンパス	8位	1.76	フェイスブック
4位	2.05	欧州中央銀行	9位	1.76	大王製紙
5位	1.81	ディー・エヌ・エー	10位	1.61	BNPパリバ

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートrend」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載

2011年度 広報PRアカデミー実施要項

コース	コース・コンセプト	対象者レベル	実務経験年数	講座名	講座コンセプト	時期	期間
入門・基礎コース	広報・PRに関する基本的な知識やスキルを習得させ、上司や先輩の指導のもとに業務を遂行できる基礎的な実務能力を育成する。	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。	0～2年	広報・PR入門講座	講義や演習、ケーススタディの紹介等の多彩なカリキュラムを通して広報・PRに関する基本的な知識やスキルを総合的に習得する基礎講座。	4月中旬	全日/5日間連続
中級コース	日常的に生ずる広報・PRの課題に、自身の判断で適切かつ効果的な対応を行うことができる、より高度な実務能力を育成する。	上司や先輩の助言なしに日常的な業務を遂行できる能力を有する担当者。	2～5年	メディアリレーションズ集中講座 (旧 広報PR実務講座)	新聞、雑誌、テレビ、ネット系メディアの第一線で活躍する現場キーマンを講師に招き、それぞれのメディアの特性、方針、業務や体制の実際や記者へのアプローチ法等に関するアドバイスをいただき、多様なメディアへの対応能力の向上をはかる実務講座。	7月	半日/2日間(午後～夜間)
			3年以上	スキルアップ・コース	ニュースリリースの作成、日常的なメディア対応、非常時におけるメディア対応等、現場実務の担当者のメディア対応能力の強化をはかる技能養成講座。	10月	半日/3日間
上級コース	広報・PRの実務を通じて経営者や上司を補佐するとともに、グループをマネジメントして組織的かつ計画的に企業・団体の広報・PR業務を推進できる能力を育成する。	経営や事業における課題を認識しその解決に向けて自身の判断で広報・PR業務を遂行できる能力を有する担当者。	5年以上	マネジメントコース	大学教員等の学識者や現役の広報マネージャー、各分野のスペシャリストを講師に招き、講義や演習を通じて広報・PR業務マネジメントに必要な幅広い知識、スキル、考え方を体系的に習得する広報・PRマネージャー養成講座。	11～3月	各120分/隔週12回(夜間)
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する。	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす者。	0年～(学生可)	1次試験対応講座	PRプランナー1次試験合格をめざし、テキストをベースに広報・PRに関する基本的な知識、考え方を習得する講座。	7～8月/1～2月	各150分/週一5日間(夜間)
			3年以上	3次試験対応講座 (旧 広報ジュニア・カレッジ)	PRプランナー3次試験合格をめざし、実務にも役立つニュースリリースの作成法、広報・PR計画の立案法を高度なレベルで習得する講座。	6～7月/12～1月	各150分/週一6日間(夜間)

※詳細につきましては、順次当協会ホームページ (<http://www.prsj.or.jp>) で発表いたします。

※カリキュラムは変更する場合があります。ご了承ください。

(社)日本パブリックリレーションズ協会
tel. 03-5413-6760 fax. 03-5413-2147